

2026年12月期 第2四半期
決算説明資料

2026年8月14日（金）
株式会社WIZE（証券コード:3664）

課題をゼロに、価値を頂点へ



WIZE

INDEX

01 | 2026年12月期 第2四半期実績

02 | ソラナ事業は新たなステージへ

- 社内外の有識者によるアナリストチームの組成 (SOL MAN'S)
- WIZEソラナ事業レポート Vol.1
- 独自のソラナ価格予測モデル (W3M分析)

03 | 連結通期業績予想

04 | Dual-Loop 戦略の進捗

05 | Appendix

01

2026年12月期 第2四半期実績

WIZEは、J-GAAP上の売上高・営業利益に加え、調整後EBITA・ソラナ運用収益・営業CF等の管理KPIを用いて、実質的な収益力と企業価値向上の進捗を継続的に開示していきます。

調整後EBITA (※1)

△117.6百万円

ソラナ運用収益

9.0百万円

営業CF

△137百万円

WIZE Treasury Core

50,812 SOL

※当社が直接保有するSOL

WIZE Treasury

114,000 SOL

※WIZEバリデータが運用するSOLの総量 (外部からの委任を含む)

ソラナ評価損益

△148.7百万円

調整後EBITA (※1) の定義

調整後EBITAは、営業利益に減価償却費・無形資産償却費およびソラナ運用収益を加味した、当社独自の管理指標です。J-GAAP上の営業利益を補完し、ソラナを基盤とする事業構造への転換に伴う実質的な収益力を把握することを目的としています。

調整後EBITA = 営業利益 + 減価償却費・無形資産償却費 + ソラナ運用収益

※ ソラナ運用収益には、ステーキング報酬およびバリデータ報酬を含みます。

※ 暗号資産評価損益は、価格変動影響を明確に区分するため、調整後EBITAには含めておりません。

※ 営業CFは現金創出力を示す指標であり、調整後EBITAは収益力を補足的に示す管理指標です。

2 2Q累計財務ハイライト | J-GAAP指標

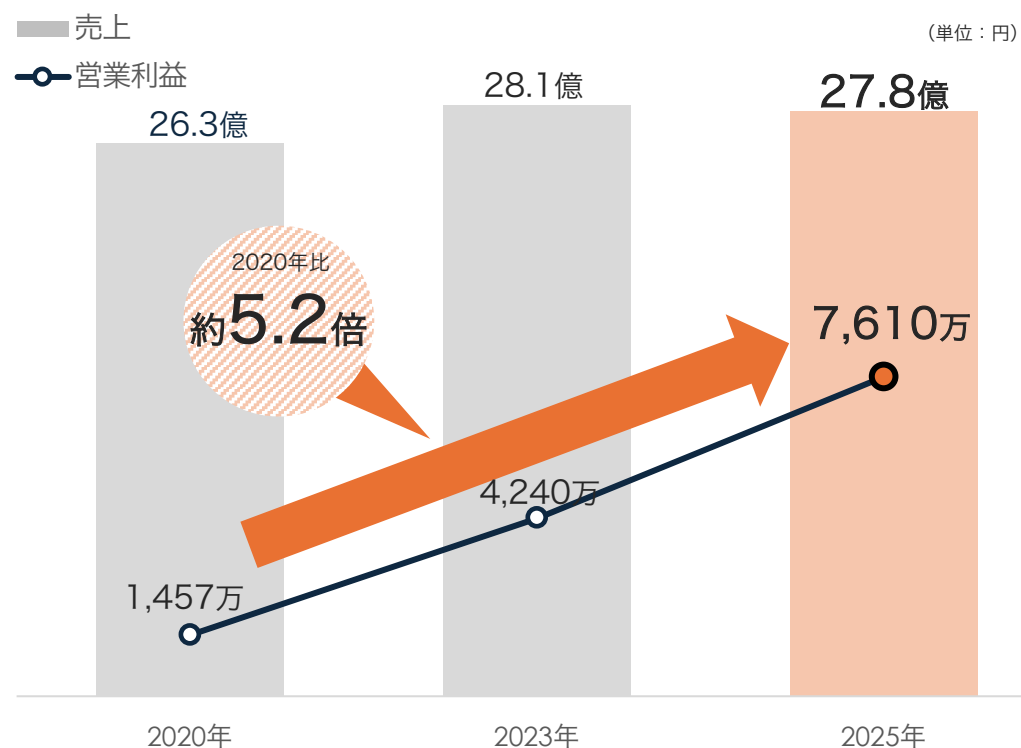
主力の「ゆとりの空間」はセール実施時期の期ずれ（前期6月→当期7月）により減収も、引き続き営業黒字を確保。不採算事業の整理・WIZE社単体の固定費削減により連結営業損益は23百万円改善した一方、暗号資産評価損の計上により、経常損益以下は前年同期を下回る。

(単位：百万円)	2026年12月期 (2Q累計)	2025年12月期 (2Q累計)		
	実績	実績	差異	主な要因
売上高	1,381	1,437	△56	・ ゆとりの空間のセール実施時期が前期6月から当期7月へ期ずれ
売上総利益	838	857	△19	・ 減収に連動も、値引き販売の剥落により粗利率は改善
営業利益	△142	△165	23	・ 前期に着手した不採算事業の整理が寄与し、償却負担と固定費が減少。
経常利益	△302	△168	△134	・ 暗号資産評価損148.7百万円を計上
親会社株主に帰属する 当期純利益	△315	△186	△129	・ 経常利益減少に連動

3 ゆとりの空間 | 中期戦略 重要KPIの進捗

ゆとりの空間は、利益率の向上を中期戦略に置き、高粗利チャネルである自社ECとアプリへの構成シフトを推進。2025年10月にローンチした公式アプリは、ダウンロード数・アクティブユーザー数ともに拡大し、アプリ経由売上比率は3割超で定着。

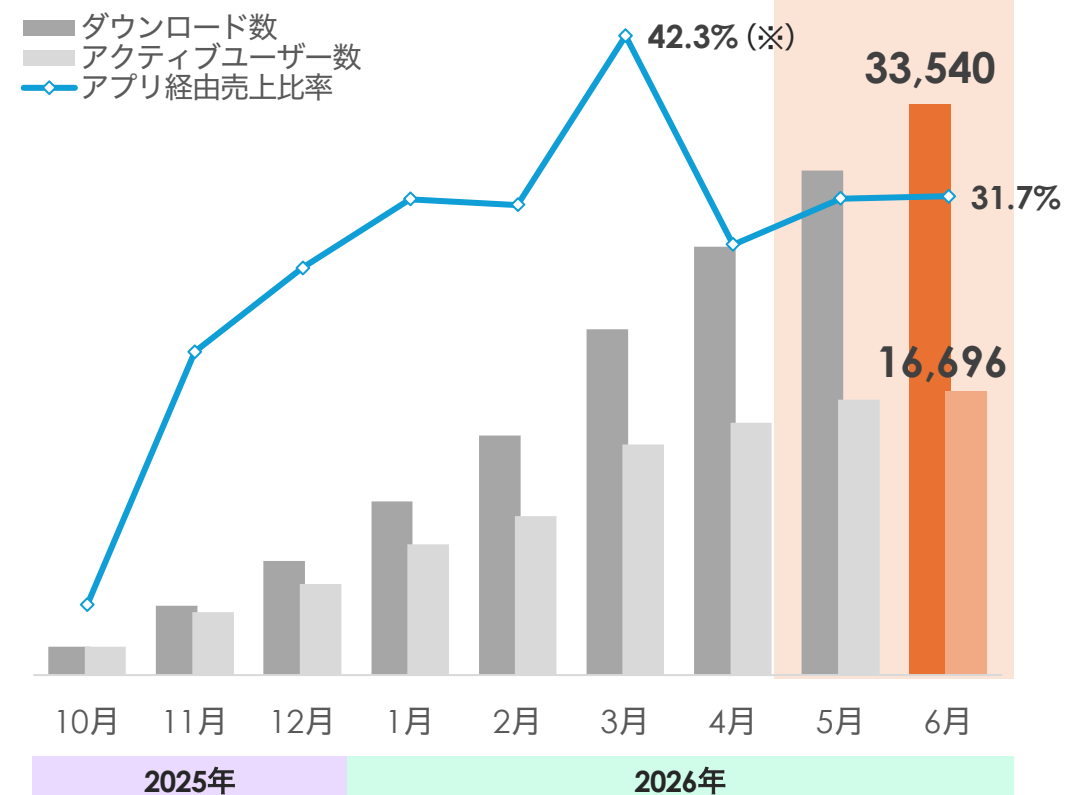
売上・営業利益推移



2019.10 -
グループ参画。不採算領域の見直し・EC本店強化の推進により利益率改善

2025.10 -
自社アプリをローンチ

公式アプリKPI推移



(※) 3月はキャンペーン実施による一時的な増加

02 ソラナ事業は新たなステージへ

- 社内外の有識者によるアナリストチームの組成（SOL MAN'S）
- WIZEソラナ事業レポート Vol.1
- 独自のソラナ価格予測モデル（W3M分析）

4 社内外の有識者によるアナリストチームの組成

専門家の知見を事業運営に組み込む体制として、アナリストチーム SOL MAN'S を新設。
多角的な視点を得て、ソラナ事業は新たなステージへ。

SOL MAN'S

アナリストチーム

01 WIZEソラナ事業レポート

当社のソラナ事業を、チームの視点で客観的に整理

02 価格予測モデル W3M

3軸の独自モデルで2026年末のSOL価格を分析

社内

M.

強み

資本市場とソラナ市場に精通

経歴

- ・国内大手証券会社での実務経験
- ・ソラナ財団での活動で培った
国内ソラナ市場の深い知見
- ・ソラナ主要プロジェクトの
日本市場進出を支援

社外

A.

強み

暗号資産市場の分析と発信

経歴

- ・暗号資産専門メディアでの代表経験
- ・累計100本超の市場分析
レポートを発行
- ・海外リサーチ機関と提携し
国内外の動向を分析

社内

N.

強み

ソラナ基盤の技術と経済性

経歴

- ・大規模ブロックチェーン案件に従事
- ・ソラナ特化のインフラ運用に
豊富な知見
- ・ソラナを活用した
資産運用の実務に精通

社内

S.

強み

投資と事業の見極め

経歴

- ・Web3特化の投資ファンドを創業
- ・Web3新興企業 数十社へ出資・支援
- ・ファンド実務で培った
投資判断の目利き

※ SOL MAN'Sは、当社が自社事業の分析を目的として組成した社内体制であり、投資助言・代理業を営むものではありません。
W3Mによる価格予想は当社独自の分析に基づく見解であり、将来の価格および業績を保証するものではなく、特定の暗号資産の取得等を推奨するものでもありません。

5 WIZEソラナ事業レポート | サマリー



事業開始から9ヶ月で総保有66,458 SOL・累計取得額10.0億円。
日本最大・世界TOP10級の上場ソラナ・トレジャリーへ。

総保有SOL（ステーキング報酬含む）

66,458
SOL

累計取得額

10.0 億円

取得回数 60回 | 2026年7月31日時点

累計ステーキング報酬

855 SOL

2026年7月31日時点

うち購入分

65,603 SOL

2026年7月31日時点

平均取得単価（ステーキング報酬含む）

15,053 円

開始時 約25,063円から 約▲40%

バリデータ委任総量

206,170 SOL

2026年8月7日時点

世界順位

TOP10級

CoinGecko「Solana Treasury Holdings」に基づく当社調べ

トレジャリー運用の強み

- 01 分散 × 機動の取得戦略**
60回の分散取得と下落局面の買い増しで、取得単価を着実に低減
- 02 9ヶ月で世界TOP10級の規模**
日本最大の上場ソラナ・トレジャリーとして、世界上位の規模に到達
- 03 ソラナ（SOL）が増え続ける構造**
ステーキング報酬により、保有SOLが積み上がる体制を構築

第2四半期の主なプレスリリース

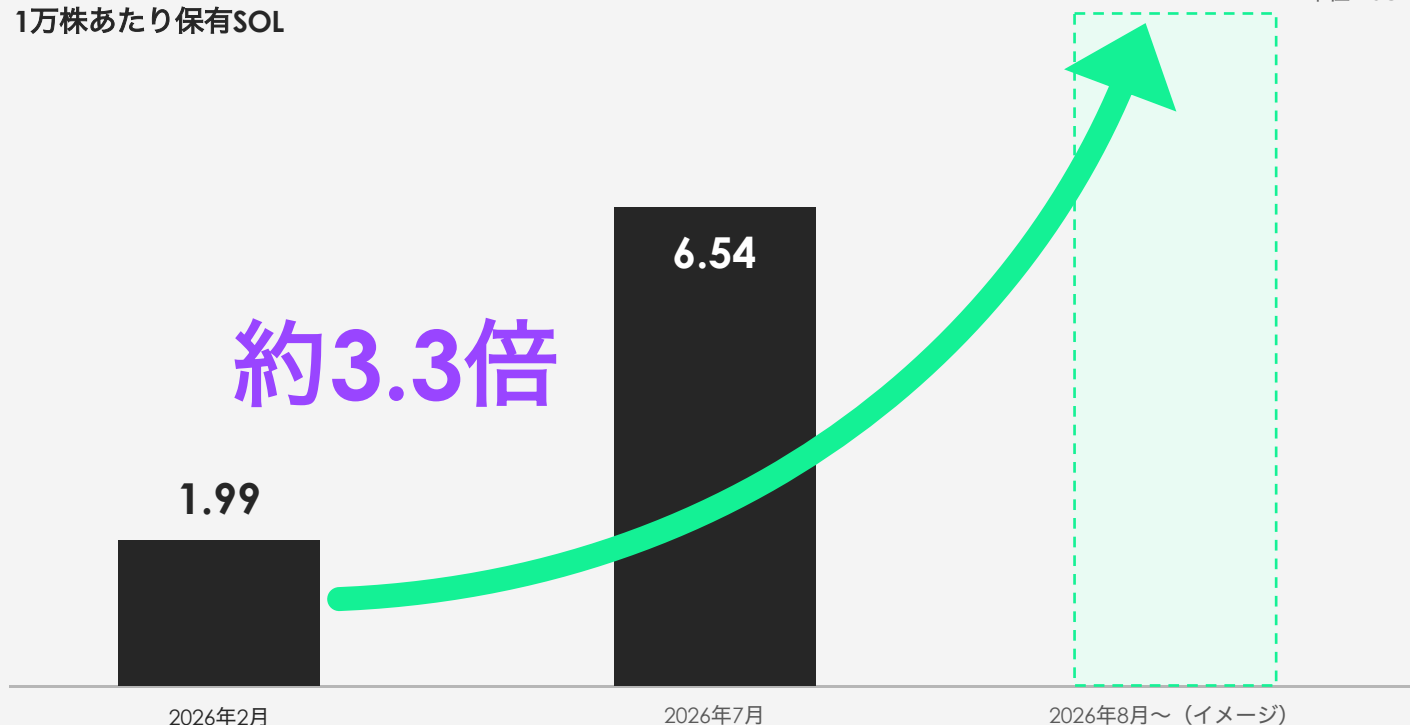
- 4/8 Double Zero 地理的分散プログラムに採択**
外部委任の獲得でバリデータ運用規模を拡大
- 4/30 Jupiterを活用したSOL運用高度化を開始**
保有SOLに追加利回りを重ねる運用手法を導入
- 6/4 SBI VCトレードとの連携を発表**
国内最大級の金融グループ傘下の取引所と連携

6 WIZEソラナ事業レポート | 1万株あたりSOLの推移

新株予約権の行使が進むなかでも、1万株あたりSOLは5ヶ月で 1.99 → 6.54 へ約3.3倍に増加。

1万株あたり保有SOL

単位：SOL



重要指標

1万株あたりSOL

WIZE株式1万株が実質的に持つSOLの枚数。

この値が増えるほど、1株あたりのSOL実質保有数が増える。

SOL Yield

1万株あたりSOLが期間中に何%増えたか。株式発行に頼らず、ステーキングで株主持分のSOLが複利で増える速さを示す。

1万株を保有する株主の持分イメージ (2026年7月時点)

SOL 約6.54枚分

株式数が同じでも、ステーキング報酬で総保有SOLが増えるため、持分に相当するSOLは時間とともに増えていく。

7 WIZEソラナ事業レポート | 2つのエンジン



SOLはBTC・ETHと異なり、保有だけで約6～7%の利回りを生む。戦略次第では更なる収益を狙える。

他資産と比較した
ネイティブ利回り

BTC 0%

ETH 約3%

SOL 約6～7% + バリデータ報酬

第1エンジン | 資産が生む収益

保有SOLのステーキング報酬と、外部から委任されたSOLのバリデータ報酬。
どちらもSOLで受け取るため、保有量そのものが増えていく。

① ステーキング報酬

年率 約6～7%

② バリデータ報酬

委任 206,170 SOL

受け取りはすべてSOL = 保有SOLが増え、翌期の報酬も増える

第2エンジン | 戦略で作る収益

将来的に「ターゲットバイイング」の導入を検討。
狙った価格でSOLを買いながら、オプション料を受け取る手法。

① 価格が下がらなかった場合

受け取ったオプション料が収益に

② 価格が下がった場合

狙った価格より割安にSOLを取得

どちらの場合も、当社の方針（原則ホールド・単価低減）と整合的

第1エンジン（稼働中） + 第2エンジン（将来） = ソラナ運用収益 を生み出す

※ 記載の利回り・数値は概算であり、ネットワーク状況等により変動します。

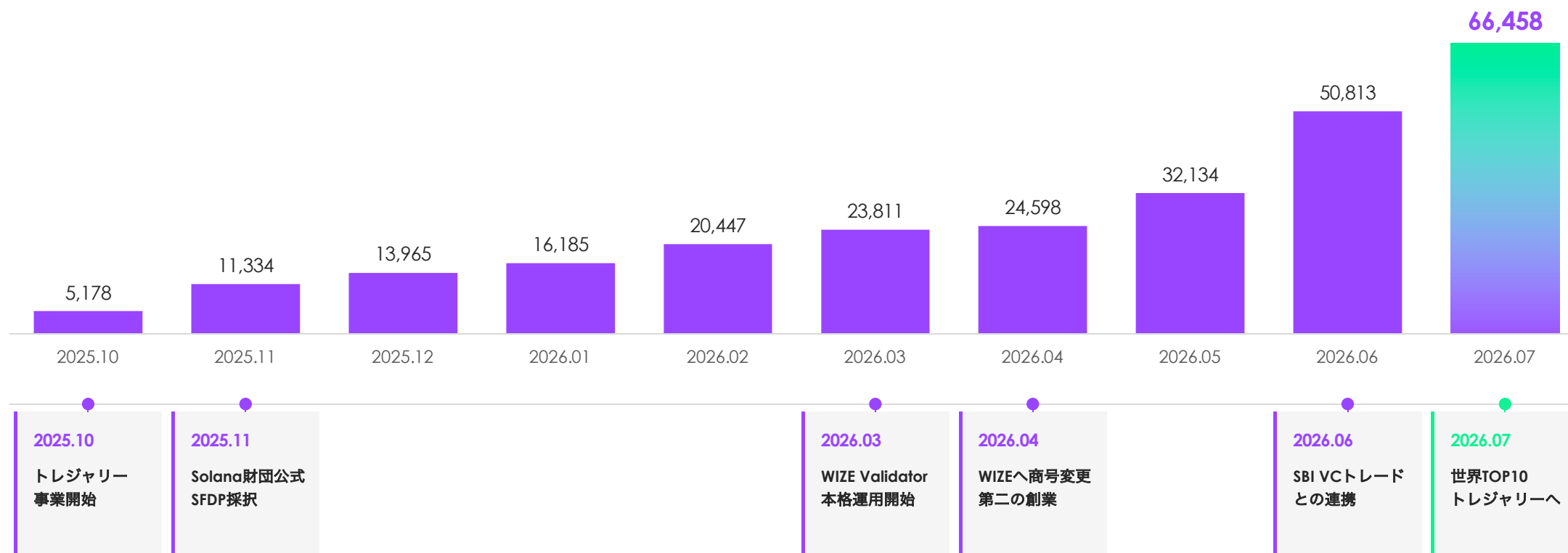
8 WIZEソラナ事業レポート | トラックレコード



SFDP採択・自社バリデータ稼働・SBI VCトレード連携を経て、世界TOP10トレジャリーへ。

総保有SOLの推移（ステーキング報酬含む）

単位：SOL



※ 総保有SOL＝各月末時点（ステーキング報酬含む）2026年3月以降は適時開示値、2025年10月～2026年2月は社内管理値。4月・6月・7月は当月の最終取得日時点。

9 価格予測モデル W3M | 2026年末のSOL価格予想

当社予測は\$123～129（約19,500円～20,500円）。
価格予測モデル「W3M」から独自に導出。

予測主体	2026年末	円換算
当社予測	\$123～129	約19,500円～20,500円

Standard Chartered銀行（英）	\$135	約21,500円
21Shares（米）	\$150	約23,800円

※ 円換算＝1ドル158.82円（2026年1～7月の平均）

※ Standard Chartered＝2026年7月2日の講演で年末\$135と表明（従来予測\$250から下方修正後の直近見解）

10 価格予測モデル W3M | 当社予測のロジック

当社の予測ロジックは「内部要因分析」「外部要因分析」「当社アナリスト見解」の3つの要素に基づく。

内部要因分析

- 「どれだけ使われているか」（実需）と価格の関係を過去43ヶ月の実績で調べる
- いまの実需に見合う価格水準を測る

外部要因分析

- SOLと相関が最も高く、流動性も高い「BTC」をベンチマークに採用
- 年末価格を1万回シミュレーション

当社アナリスト見解

- アナリストチームによる今後の相場観を強気・弱気のケースとして見立て
- 係数で反映し、上限と下限を確定させる



当社予測 = 約19,500円～20,500円（2026年末）

11 価格予測モデル W3M | 内部要因分析

「実需に対して価格がどの水準にあるか」を計測した結果、現在の実需が正当化する水準は約\$128近辺。

① 現在の実需を測る

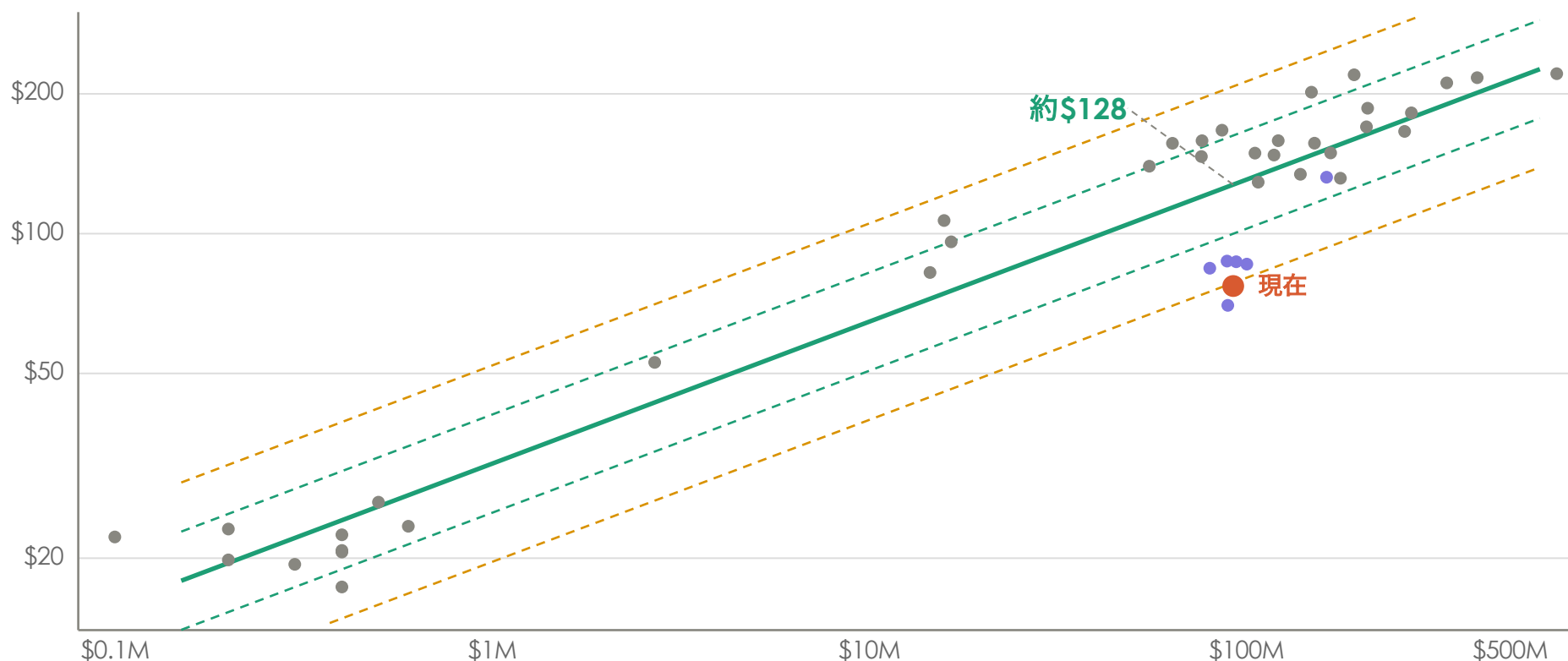
直近確定月（2026年7月）の月間収益は約\$92M

② 相場線に当てる

43ヶ月の相場線上、実需が正当化する水準は約\$128

③ 現在価格と比べる

現在価格は帯の下側＝実需対比で割安な位置



※ 参照データ: 2023年1月～2026年7月（43ヶ月・1点=1ヶ月）。緑線=相場線／緑点線=±1σ（±27％）／金色点線=±2σ。灰色=23～25年・紫=26年・オレンジ=直近確定月

※ 月間収益=Solanaチェーン本体+その上のアプリが利用者から得た収益の合計。横軸: 月間収益（百万ドル・対数）／縦軸: SOL価格（ドル・対数）

12 価格予測モデル W3M | 外部要因分析

BTCをベンチマークとする独自の価格予測モデルを構築。

3機関の目標価格の中央値\$100,000（年末BTC）を前提に、2026年末のSOL価格を中央値\$131と試算。

① 設計 | 価格予測モデルの仕組み

STEP1 | 過去データの特性を学習

過去6年の値動きと公開データ41種から、BTC・SOLの連動性や変動の特性を分析

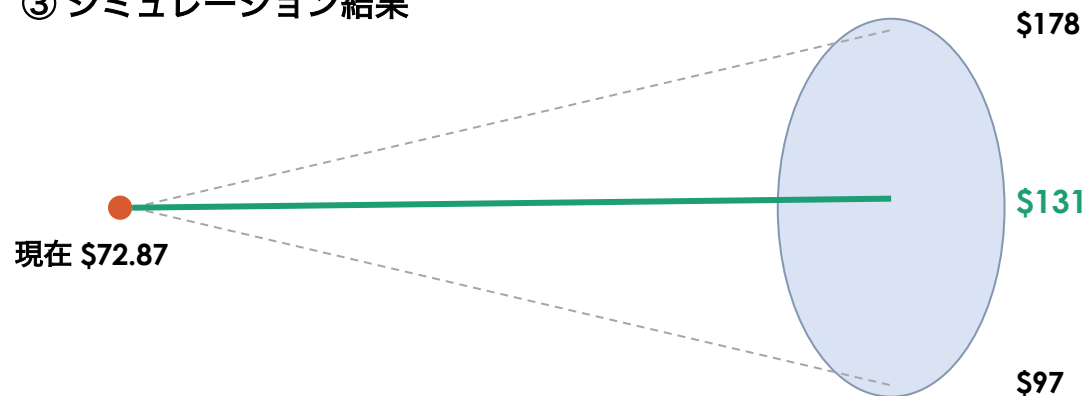
STEP2 | ベンチマークはBTC年末価格

SOLと最も相関が高く、流動性も高いBTCが論理的な基準

STEP3 | 1万回のシミュレーションで年末価格を推計

年末までの値動きを1日ずつ進める試行を1万回行い、結果の中央値を採用

③ シミュレーション結果



※ BTC \$100,000前提・10回のうち8回は円の中（\$97～178）

※ 現在＝\$72.87（2026年7月31日の終値）

② 前提 | 3機関のBTC目標価格

機関	目標価格
Standard Chartered	\$100,000
21Shares	\$100,000
Citi（シティグループ）	\$82,000

※ 公表時期/出典URL：P25「参考資料」を参照

3機関の目標価格の中央値＝\$100,000を2026年末の前提に採用

※ 各機関の公表時期および対象期間を勘案のうえ、中央値\$100,000を2026年末時点の前提として採用

2026年末のSOL価格＝\$131

BTC \$100,000を前提にした1万回シミュレーションの中央値。

13 価格予測モデル W3M | 当社アナリスト見解

内部要因分析と外部要因分析の中間値を当社の論理値とし、
アナリストチームの相場観を係数で反映して上限・下限を確定させる。

STEP1 | 中間値を取る

内部（\$128）と外部（\$131）が近接した水準を示し、整合的であることを確認のうえ、その中間値を当社の論理値とする



STEP2 | 上限を置く

論理値を上回る水準を見込む合理的な根拠は認められないとの判断から、論理値をそのまま上限（\$129）とする



STEP3 | 下限を置く

地政学的リスクおよび金融政策の動向等を踏まえたアナリストチームの見解を係数で反映し、下限（\$123）を保守的に設定

当社としての最終レンジ = \$123～129（約19,500円～20,500円）

※ 円換算＝1ドル158.82円（2026年1～7月の平均）

03

連結通期業績予想

合理的な業績予想の算定が困難であることから、2026年12月期の業績予想を非開示としていたが、当第2四半期において重要な前提条件が合理的に見込める状況となったため、通期業績予想を開示。

2026年2月 | 非開示とした理由

暗号資産の価格変動

- 価格変動が大きく、将来の価格動向を合理的に見積もることが困難。

営業投資有価証券の譲渡

- 譲渡の成否・タイミングにより、予想と実績で大きく乖離が生じる可能性。

2026年8月 | 開示が可能となった理由

価格前提を自ら示せる体制へ

- アナリスト体制「SOL MAN'S」と独自モデル「W3M分析」を構築。
- ステージング・バリデータ報酬も実績化。

乖離要因を切り離し

- エンハンス等の営業投資有価証券の譲渡益を本予想に含めない前提とした。
- 現在進行中の営業投資有価証券譲渡が実現した時点で速やかに開示。

	2025年12月期実績	2026年12月期予想
売上高	28.08億円	27.75億円 (前期比 △0.33億円)
経常利益	△4.33億円	1.05～1.70億円 黒字転換 (改善幅 +5.38～6.03億円)

※進捗中の営業投資有価証券の譲渡益は含まれておりません。譲渡が実現した時点で速やかに開示します。

04

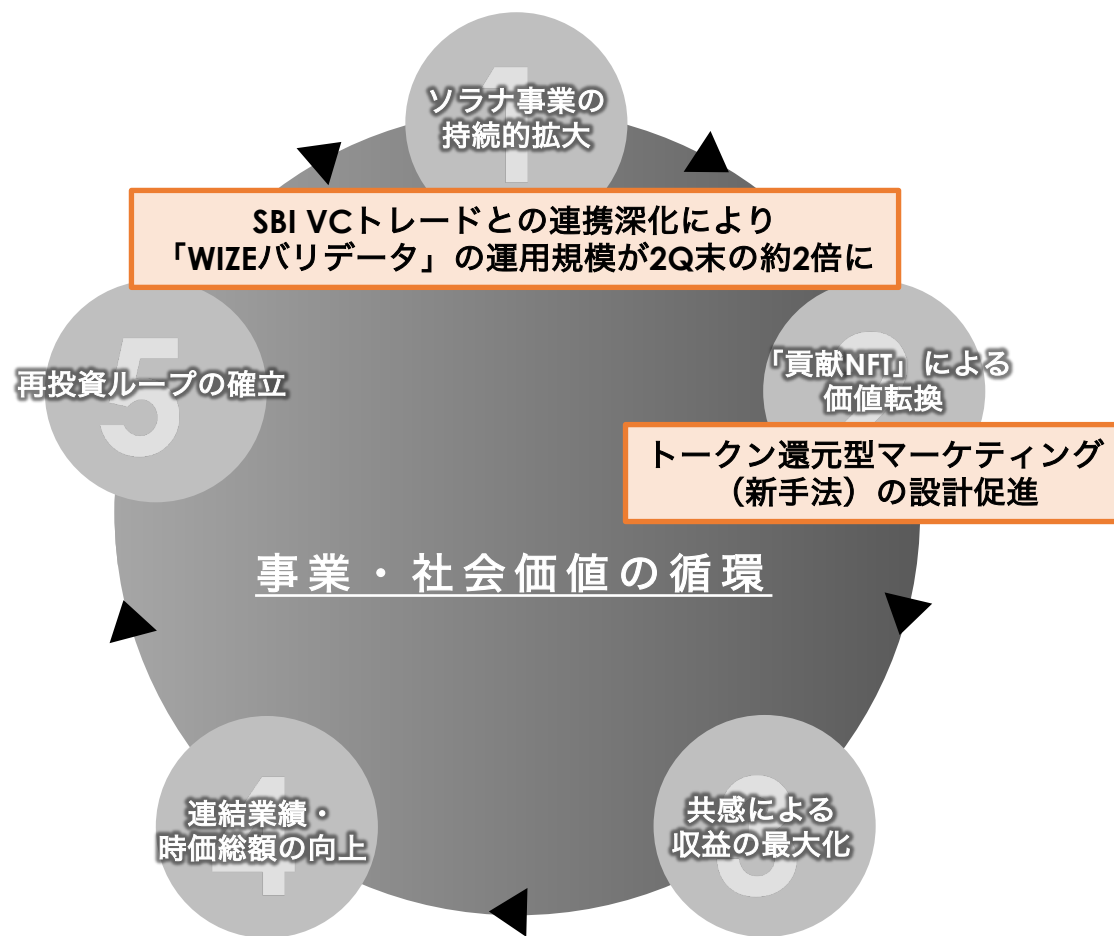
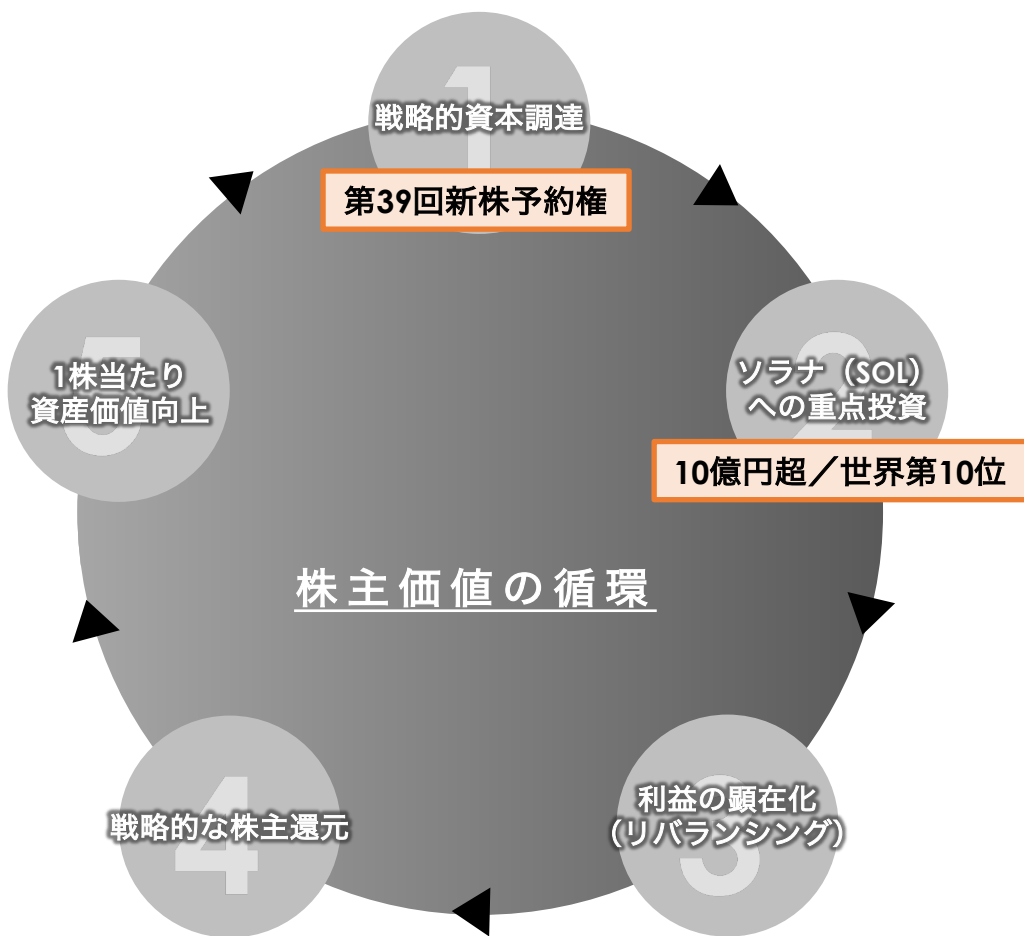
Dual-Loop 戦略の進捗

①株主価値の循環 ②事業・社会価値の循環 を両輪で回す

WIZEは、ソラナを戦略的資産基盤として位置づけ、
資本配分を通じた株主価値向上と、
Web3実装による実業成長の2つの循環を連動させることで、
持続的な企業価値向上を目指します。

17 WIZE Dual-Loop戦略 | 構想から実装へ

2つの戦略循環のうち、①株主価値の循環は戦略的資本調達により、ソラナの重点投資が進捗。②事業・社会価値の循環は「貢献NFT（SIP構想）」による価値転換に向け、引き続き設計を推進。



※本ページは現時点の方針を示すものであり、自己株式取得を含む株主還元その他の施策の実施を決定または保証するものではありません。実施を決定した場合には、法令および取引所規則に従い速やかに開示します。

05

Appendix

SOL価格の月次推移（取得開始時期～）

年月	SOL価格（月末終値）
2025年10月	28,828円
2025年11月	20,826円
2025年12月	19,527円
2026年1月	16,317円
2026年2月	13,165円
2026年3月	13,182円
2026年4月	13,035円
2026年5月	13,114円
2026年6月	11,957円
2026年7月	11,459円

※ 出典：CoinMarketCap（各月末日の終値）

主要3機関のBTC目標価格/公表日

機関	BTC目標価格	公表日
Standard Chartered	\$100,000	2026年7月10日
21Shares	\$100,000	2026年6月24日
Citi（シティグループ）	\$82,000	2026年7月1日

※ 出典

・ Standard Chartered：The Block（2026年7月10日）

<https://www.theblock.co/news/markets/2026-07-10-communication-challenge-nothing-more-standard-chartered-keeps-100000-bitcoin-target-calls-strategy-selloff-a-signaling-problem-407884>

・ 21Shares：State of Crypto #17 Mid-Year Check-in（2026年6月24日発表）

https://cdn.21shares.com/uploads/current-documents/reports/21shares_State-of-crypto-17_Mid-year-check-in.pdf

・ Citi：CoinDesk（2026年7月1日）

<https://www.coindesk.com/markets/2026/07/01/citi-slashes-12-month-bitcoin-ether-targets-as-etf-flows-dry-up>

Message from CEO

創業以来、私たちは時代の変化を新たな可能性と捉え、人々に感動を届ける価値づくりに挑戦してまいりました。

メディアや技術が移り変わる中であっても、人の心を動かす価値を創り、届けるという原点は変わりません。

2026年4月1日、当社は「株式会社WIZE」へと商号を変更しました。これは単なる名称変更ではなく、私たちにとっての「第二の創業」です。新商号には、時代の風と革新の力により、社会課題の解決と企業価値の向上を両立させ、持続可能な循環を創るという意味を込めています。

これから私たちは、エンターテインメントを“感動を届けるもの”としてだけでなく、“社会に前向きな変化を生むもの”として捉え直します。

その実現に向けて、ソラナの保有・運用をWIZEエコシステムを支える資本・収益・インフラ基盤として位置づけ、エンターテインメント、アプリ/コンテンツ、SIAPと連動させていきます。

今後は、J-GAAP指標である売上高・営業利益に加え、調整後EBITA、ソラナ運用収益、営業CF等の管理KPIも用いながら、WIZEの実質的な収益力と企業価値向上の進捗を継続的に開示していきます。

代表取締役CEO
藪考樹

01

第二の創業

社名変更を契機に、WIZEとして新たな成長モデルへ転換します。

02

ソラナを基盤とするエコシステム

ソラナの保有・運用を通じて、資本価値・運用収益・インフラ機能を強化します。

03

企業価値の見方を再定義

J-GAAP指標に加え、調整後EBITA、ソラナ運用収益、営業CF等で進捗を示します。

時代の変化を捉え、社会課題の解決と企業価値の向上を両立させる当社の新たな価値創造モデルを、新社名「WIZE」と企業ロゴに込めています。

W

Wind & Will

時代の風を読み、変化を推進力に変える意思を示します。

I

Innovation & Integration

ソラナとエンターテインメントを統合し、新たな価値を創出します。

Z

Zero & Zenith

社会課題の解決（マイナス）をゼロに、企業価値・利益を頂点へ。

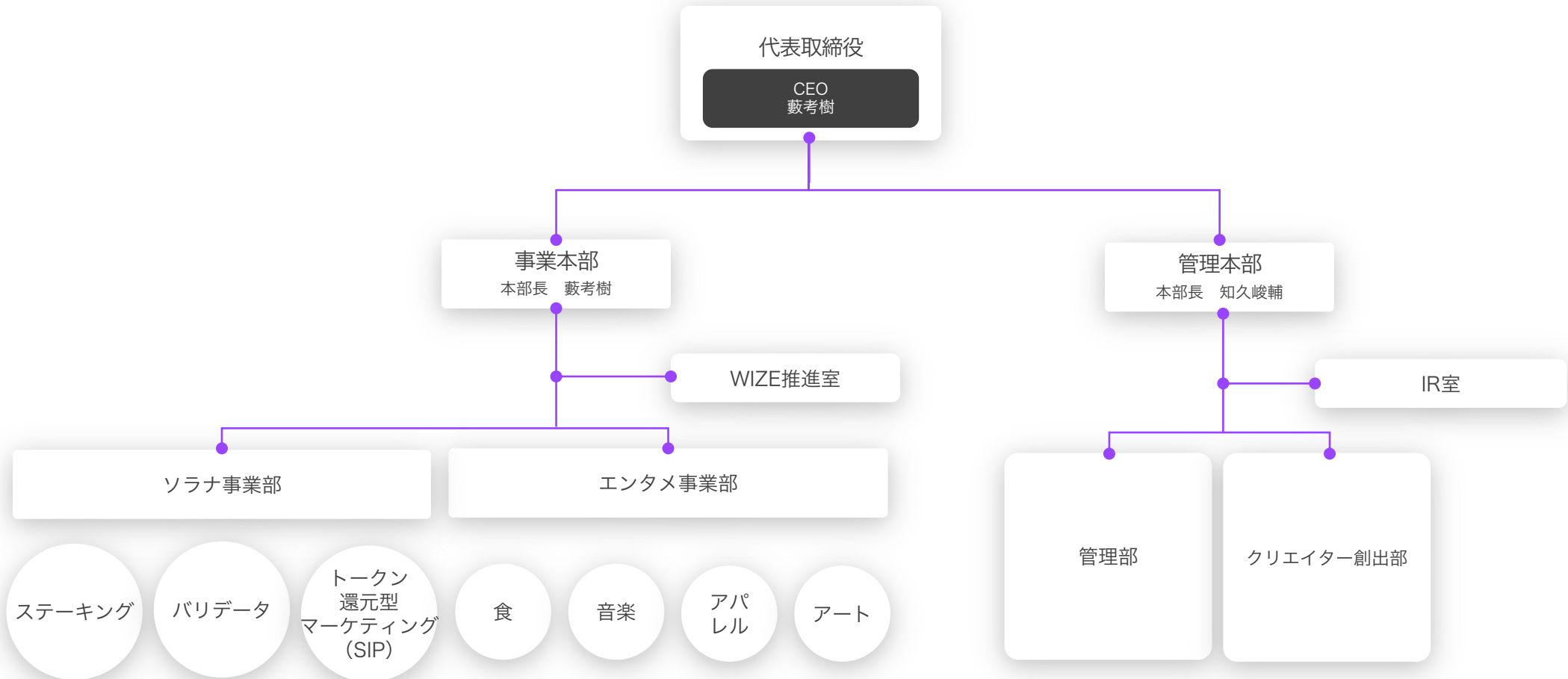
E

Ecosystem

ソラナ、エンタメ、アプリ／コンテンツ、SIAPを連動させ、持続的な成長循環を構築します。

**WIZE**

WIZEロゴは、WとZの融合により、時代の風を捉える意思と、社会課題の解決・企業価値向上の両立を表現しています。
3つの円は、企業・顧客・社会がともに豊かになる「三方よし」の価値循環を示し、斜めに貫く軌跡は、「課題をゼロに、価値を頂点へ」高めていくWIZEの成長の方向性を表しています。



(単位：千円)

	2025年			2026年	
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	719,739	632,192	738,593	689,407	691,648
売上原価	282,986	259,527	285,212	282,791	260,182
売上総利益	436,752	372,665	453,381	406,615	431,466
販管費	501,670	471,264	517,853	495,808	483,908
営業損失	▲64,918	▲98,599	▲64,471	▲89,192	▲52,442
経常損失	▲71,617	▲103,136	▲162,077	▲205,988	▲95,532
四半期純損失(※)	▲84,501	▲97,053	▲244,047	▲205,056	▲109,665
総資産	2,313,990	2,221,926	3,238,327	2,952,209	3,025,750
純資産	550,868	447,842	1,412,436	1,204,589	1,316,178

(※) 四半期純損失は親会社株主に帰属する四半期純損失数値です

	売上高		営業損失		経常利益	
通期	2,775百万円	△1.17%	△274百万円	—	105～170百万円	—

1. 本予想は、当社の事業構造の転換の進捗を示す指標として、売上高、営業利益および経常利益について記載しております。なお、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、暗号資産の期末評価に伴い生じる課税所得に対する繰越欠損金の充当額および税効果会計の適用範囲を検討中であり、その確定までに時間を要するため、開示を見送ります。当該数値につきましては、確定が出来次第、速やかに開示致します。
2. 本予想には、IP投資育成事業における営業投資有価証券の譲渡益を含めておりません。譲渡が実現した場合には、速やかに開示いたします。
3. 本予想は、本決算説明資料記載の価格予測モデル「W3M」から独自に導出したものであり、当該前提が変動した場合には、実際の業績が本予想と大きく異なる可能性があります。
4. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の仮定に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。参考に、現在のソラナ価格（2026年8月13日終値）1SOLあたり12,154円で算定すると、経常利益は△381百万円となります。その他、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

株式の状況

発行済株式数 * 1	93,101,307株
大株主の状況 * 2	
藪 考樹	4.94%
株式会社ファミリーショップワタヤ	4.51%
NOMURA INTERNATIONAL PLC A/C JAPAN FLOW	2.76%
五十畑 輝夫	1.82%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 510643	1.63%
山下 博	1.30%
熊谷 正昭	0.92%
秋山 八重子	0.90%
ABN AMRO Clearing Bank N.V., Singapore Branch	0.78%
森田 訓志	0.75%

株価関連指標

株価① * 3	24円
時価総額① * 3	2,234,431千円
総資産 * 2	3,025,750千円
純資産 * 2	1,316,178千円
PBR * 2	1.83倍
PER	—

*1：2026年 6月末日時点のものです自己株式101株を除く

*2：2026年 6月末日時点

*3：2026年 8月13日時点



社名	株式会社WIZE (WIZE INC.)
本社所在地	東京都渋谷区東一丁目26番30号
代表者	藪 考樹
設立年月日	2004年3月26日
資本金	201,682千円（2026年6月末日時点）
連結従業員数	95名（2026年6月末日時点）
事業概要	暗号資産事業、ソーシャル・エンターテインメント&メディア事業（IP投資育成、ライフスタイルIP及びデジタルIP）